

講師派遣要領

外部講師の活用は、学生・生徒に刺激を与え、当事者意識を高めます。

講師派遣に当たっては、貴学（校）の学生・生徒の奨学金の利用状況、卒業後の進路などをお伺いしたうえで、貴学（校）の学生・生徒に適した内容でレジュメを作成します。お打合せは、メールまたは電話で行っております。

【奨学金・家計管理】

対 象	内 容
大学生 専門学校生	『失敗しない奨学金との付き合い方』（仮題） ○奨学金を利用する（あるいはこれから利用する）在学学生を対象とした内容です。 ・毎月振り込まれる奨学金が卒業後の家計に重い負担になっている方が多くいます。負担を軽くするには、在学中の奨学金の利用をできるだけ少なくすることです。 ・奨学金制度の概要説明と併せて、卒業後、具体的にいつからいくらのJASSOの奨学金を返還するのかなど、家計管理の基本についてご説明します。
	『奨学金返還を将来のリスクにしないために』（仮題） ○卒業前に行われるリレー口座の登録説明会参加者を対象とした内容です。 ・奨学金の返還開始から完済まで、毎月の返還日にきちんと決済されていることが何より重要です。 ・延滞すると個人信用情報機関に登録され、社会生活を送るうえで不利益をこうむることがあります。 ・新入社員の給料を例示し、奨学金を払いながら家計を管理する具体策についてご説明します。
高校生	『奨学金を利用するにあたって』（仮題） ○進学するに際して、奨学金を利用する予定の高校生を対象とした内容です。 ・奨学金は高校在学中の予約採用だけでなく、進学後も利用できます。採用が決まれば基本的には在学中は継続します。安易に必要以上の額を利用していると、卒業後重い負担を抱えることとなります。 ・奨学金制度の概要説明と併せて、進学に要する費用や生活費などを踏まえた家計管理についてご説明します。
保護者	『奨学金について保護者として知っておくべきこと』（仮題） ○奨学金を利用して生徒が進学を予定している保護者を対象とした内容です。 ・奨学金の契約者は実際に学校に通う生徒で、返還義務も生徒本人にあります。 ・奨学金制度の概要説明と併せて、生徒の将来に関わる重要なことなので、家族で話し合っ共通の認識を持つことの重要性をご説明します。

【消費者教育一般】

対 象	内 容
大学生・専門 学校生・高校 生・一般消費 者	『キャッシュレス（見えないお金）との付き合い方』（仮題） ○お金を使うすべての消費者を対象とした内容です。 ・最近話題になっているキャッシュレスについて、その仕組みや利用上の留意点などをわかりやすくご説明します。受講者のワークなどを加えることも可能です。
先生方	『キャッシュレスと家計管理』（仮題） ○消費者教育を担当する高校の先生方の研修会を対象とした内容です。 ・上記内容を体系的にわかりやすくご説明します。 ・生徒の気づき、発見を促すワークシートを提供し、先生方の授業にすぐ役立つ内容です。

1. 時期・時間

- ・通年お受けしております。

10月 - 11月は、JASSOの奨学金リレー口座の登録説明会が集中しておりますので、講師派遣をご検討の場合は、なるべくお早めにご相談ください。

- ・時間は1時間程度を目安としておりますが、貴学（校）のご都合もお伺いします。

2. 人数

- ・少人数の開催でも派遣可能です。
- ・複数回の講演も派遣可能です。

3. 費用等

- ・講師料は不要です。遠方の場合、交通費についてはご相談とさせていただきます。

【講演実績】

2019.02.08	神田女学園高等学校
2019.02.07	東京都立農業高等学校
2018.12.19	札幌創成高等学校
2018.12.13	埼玉県立秩父高等学校後援会
2018.12.05	知多市商工振興課（一般消費者）
2018.11.26	東京アニメ・声優専門学校
2018.11.15	新東京歯科技工士学校/新東京歯科衛生士学校
2018.11.13	東京ベルエポック製菓調理専門学校
2018.11.12	東京バイオテクノロジー専門学校
2018.11.08	東京家政大学（板橋キャンパス）
2018.11.07	神田外語大学
2018.11.06	帝京科学大学
2018.11.01	東京家政大学（狭山キャンパス）
2018.10.16	札幌大学
2018.10.10	東京コミュニケーションアート専門学校
2018.08.10	埼玉県消費生活支援センター（先生方）
2018.07.18	神田外語大学
2018.05.16	神田外語大学
2018.04.04	横浜美術大学
2017.11.13	東京アニメ・声優専門学校
2017.11.01	神田外語大学
2017.10.26	東京家政大学（板橋キャンパス）

(2019年2月8日現在)

若者の消費は景気をうつす鏡のようなものです。前世紀末に起きたバブル景気は、当時の若者たちにも恩恵をもたらしました。クリスマスには着飾った若者たちのホテル争奪戦が起き、スキー場にも若者たちがあふれました。

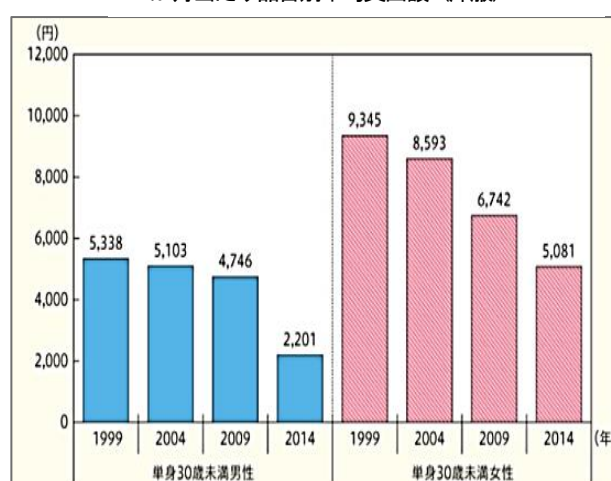
バブルが崩壊すると、若者たちは窮地に追い込まれました。不景気にともない企業の採用が控えられ就職難がおき、給料もバブル期とは大違いでほとんど上がらなくなってしまいました。

さらにここ10年では、奨学金が利用しやすくなり進学への機会は確保されましたが、一方で、卒業後にその返還が若者たちを苦しめることになっています。この三つの異なる状況は、すべて同じ若者世代ではありません。どの時代の若者が幸せかというものではないにしても、若者におしゃれの節約を強いるのは心苦しい気がします。

若者の車離れ、酒離れなど、若者がお金を使わなくなったといわれています。右の図はそのひとつとして掲げられていたものです。バブル期の百貨店など先端ファッションを売りにしている小売業は、お金を自由に使える若い女性をターゲットにしています。

若者がお金を使わなくなり百貨店の業績はまったく振るわなくなってきました。とはいえ低価格のネットショッピングのファッションサイトは若者を集めています。

1か月当たり品目別平均支出額（洋服）



（資料）平成29年度版『消費者白書』（消費者庁）

こういった現象は何が原因なのでしょう？ 諸説がありますが、奨学金（貸与型）もひとつの要因のように思われます。大学生の約半数が利用している奨学金は、卒業後毎月1万円から2万5,000円程度を10年以上の長い年月をかけて払い続けるのが一般的です。これでは若者がお金を使えないのは当たり前です。使いたくても、使うお金がないのです。

ふりかえってわが国の状況を見ると、少子高齢化が進み、人手不足が問題になり、地方ではより深刻な人口減少が急速に進んでいます。このようなことが背景にあって企業や自治体の一部では、就職したり、その自治体に住めば奨学金の返還を援助するところまでできています。いろいろ制約はありますが、卒業後の進路の選択に当たっては検討する余地があるものと思われます。

★レジュメの一部はホームページに掲載しております。

★現在、奨学金返還援助企業・自治体のリストを作成中です。

後日、ホームページにアップする予定です。

《お問い合わせ先》

一般社団法人 NTS セーフティ家計総合研究所
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-13-2 Yビル 6階

TEL (03) 6459-4770

FAX (03) 3457-1630 (担当：長野、國枝)

Mail : safety@nts-hd.co.jp URL : <https://nts-safety.com/>

